

感染症についてのお知らせ

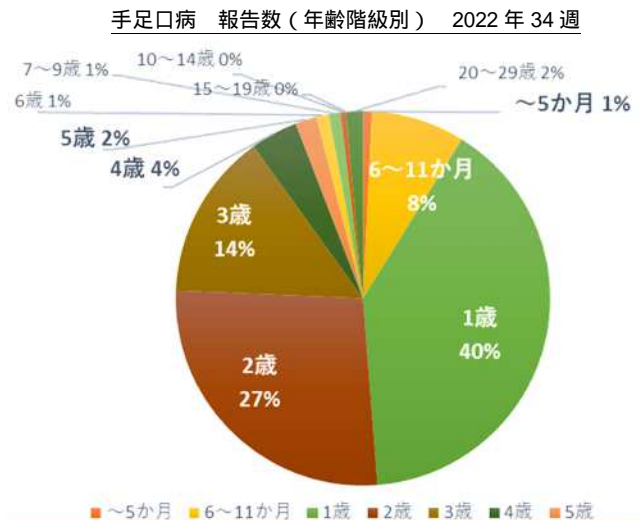
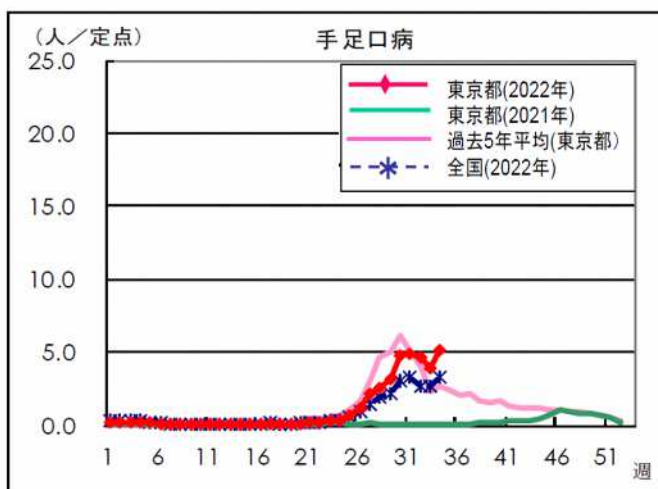


墨田区保健所 保健予防課 感染症係 区役所 3階
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和4年
9月号

東京都内の感染症流行情報

手足口病は第28週（7月11日～7月17日）以降発生数が増加し、第34週（8月22日～8月28日）においても警報レベルが続いています。



手足口病について

手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。

4歳くらいまでの幼児を中心に、主に夏に流行します。病気の原因となるウイルスは、主にコクサッキーウイルス A6、A16、エンテロウイルス 71 (EV71) で、その他、コクサッキーウイルス A10 などが原因になることもあります

感染経路

飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染することです）が知られています。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

症状

感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに2～3mmの水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、高熱が続くことは通常はありません。ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気です。

しかし、まれですが、髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症のほか、心筋炎、神経原性肺水腫、急性弛緩性麻痺など、さまざまな症状が出る場合があります。

感染対策

一般的な感染対策は、手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。特に、保育施設などの乳幼児の集団生活では、職員と子ども達が、流水と石けんでしっかりと手洗いをすることが大切です。また、タオルの共用はしてはいけません。

手足口病は、治った後も比較的長い期間便の中にウイルスが排泄されますし、また、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合もあると考えられることから、日頃からのしっかりと手洗いが大切です。



外から帰宅した後
食事、調理前
トイレの後

結核について ~咳が止まらない。微熱が続く。それって結核かも。~

9月24日から9月30日まで「結核予防週間」です。

東京都の結核罹患率は、全国の中で2019年（平成31年・令和元年）ワースト11位、2020年（令和2年）ワースト9位となっている。2020年（令和2年）は30道県が罹患率10以下となり、東京都は全国と比べ依然高い状態にあります。

咳が止まらない？微熱が続く？それって結核かも！

結核とは、結核菌という細菌が体の中に入ることによって起こる病気です。

原因と感染経路

咳やくしゃみをすると飛沫（しぶき）に含まれる結核菌が空気中で飛び散り、それを他の人が吸い込むことにより「感染」します。

感染と発病は違います

「感染」とは、結核菌が免疫によって封じ込められたままで活動していない状態です。

「感染した」だけの状態なら、周囲の人にうつす心配はありません。感染後6ヵ月から2年の間に

発病することが多く、免疫力や体力が低下したときに発病することもあります。一生発病しない方もいます。

「発病」とは、結核菌が体内で増えて病気を引き起こした状態をいいます。発病の初期は、咳や痰の中に結核菌が出ませんが結核の進行に伴い、咳や痰の中に結核菌が排菌され、排菌量が増えると他の人にも感染させるようになります。

症状

初期の症状は風邪と似ていますが、咳、痰、発熱（微熱）などの症状が長く続くのが特徴です。

また、体重が減る、食欲がない、寝汗をかく、などの症状もあります。さらにひどくなると、だるさや息切れ、血の混じった痰などが始め、咯血や呼吸困難に陥って死に至ることもあります。そのため、早期発見・早期治療が重要です。

治療

排菌の有無や体調に合わせ、入院または通院で治療します。

治療は一般的に抗結核薬を6ヶ月から9か月間服薬することです。

予防のポイント

予防接種を受けましょう

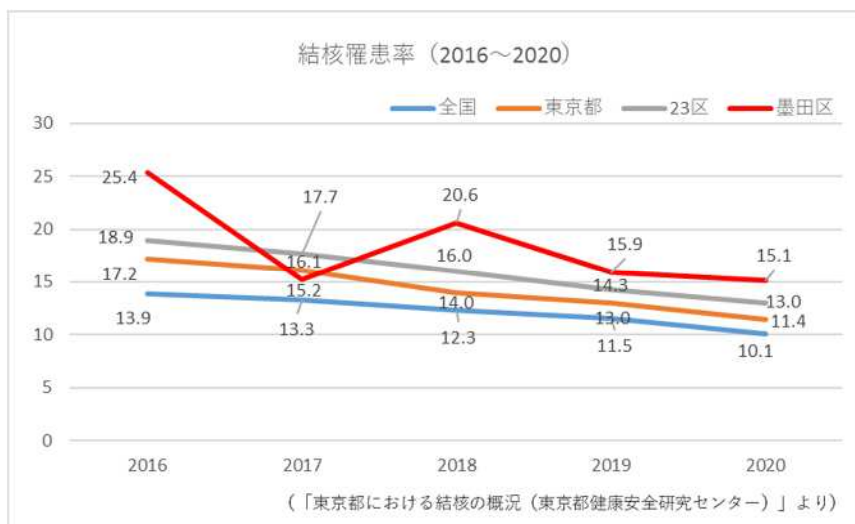
乳幼児が感染した場合の重症化予防を目的にBCGの予防接種を行います。BCGは生後1歳に至るまでの間に接種します。標準的な接種期間は生後5か月から8か月です。

定期健診を受けましょう

成人の方については、結核に限らず様々な疾患の早期発見のために**胸部エックス線検査**を1年に1回程度受けておくことが大切です。

2週間以上、咳や痰、微熱が続くようなら早めに医療機関を受診しましょう

【お問い合わせ】墨田区保健所保健予防課感染症係 03-5608-6191



このお知らせは、東京都感染症情報センター（<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>）の情報及び東京都健康安全研究センターが集計を行った「東京都感染症発生動向調査週報」（<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/epidinfo/>）を基に作成しています。